

『なんでじゃろ。横に壁みたいなの作ってみたらいいかもしれん。』

育っている姿（自然との関わり・思考力の芽生え・自立心）



うん、ええな!

育っている姿

雪がたくさん降ったので、雪遊びをしました。雪の中を走ったり、雪に埋もれたり、そりに雪を乗せて引っ張ったりとたくさん遊んだ後、「そりで滑るところ、作りたい!みんなで作ろうや。」とみんなで作るようになりました。みんなは雪を集め始め、段々と大きな雪の山ができると、今度は斜面と階段を作ることになりました。「もっとたくさん雪がいるな。」「ここに雪、乗せようや。」「階段作ろうと思ったけど、固くならんのよ。」「スコップで固くしたらいいんで。」と自分が知っていることや考えたことを伝え合いながら力を合わせて作っていた子ども達でしたが、Aくんは何も言わずに、手に持ったそりを斜面に当て、上下させたり、そりに乗って滑っては「うーん。」と言い、じっと雪の山を見たりしていました。一緒にいたBくんが「Aくん、まだできてないんじゃない、待ってや。」と言うと、Aくんは「試しに滑ってみよ。滑るんじゃないけど、なんか横に滑るけん、そりの跡、付けてみとんよ。」と言いました。Bくんと話をする中で、Aくんは「さっきはまっすぐ滑ったのに、今度は横に行ったんじゃろ。なんでじゃろ。横に壁みたいなの作ってみたらいいかもしれん。」と次のアイデアを思いついたようで、今度は横の壁作りが始まりました。そして、繰り返しいろいろなアイデアを試しながら滑る台が出来上がると、Aくんは「Cちゃん、試しに滑ってみてや。」と言いました。滑ってみたCちゃんが「うん、ええな!」と言うと、満足そうな表情を見せていたAくんでした。

Aくんの“そりで滑る台を作りたい”という思いから、どのようにしたらよく滑るかを考えて試したり、今までの経験や知識を友達と伝え合いながら作ろうとする姿が見られました。また、考えて予測したことが思ったようにならなかった時、“次はこうしてみよう”と次のアイデアを試し、何度も考えながら作る姿が見られた一場面でした。